

ギニア共和国

「森林 保全に配慮した高品質カカオの  
普及・実証・ビジネス化事業」

兼松(株)・(株)立花商店

## (前半) 兼松(株)

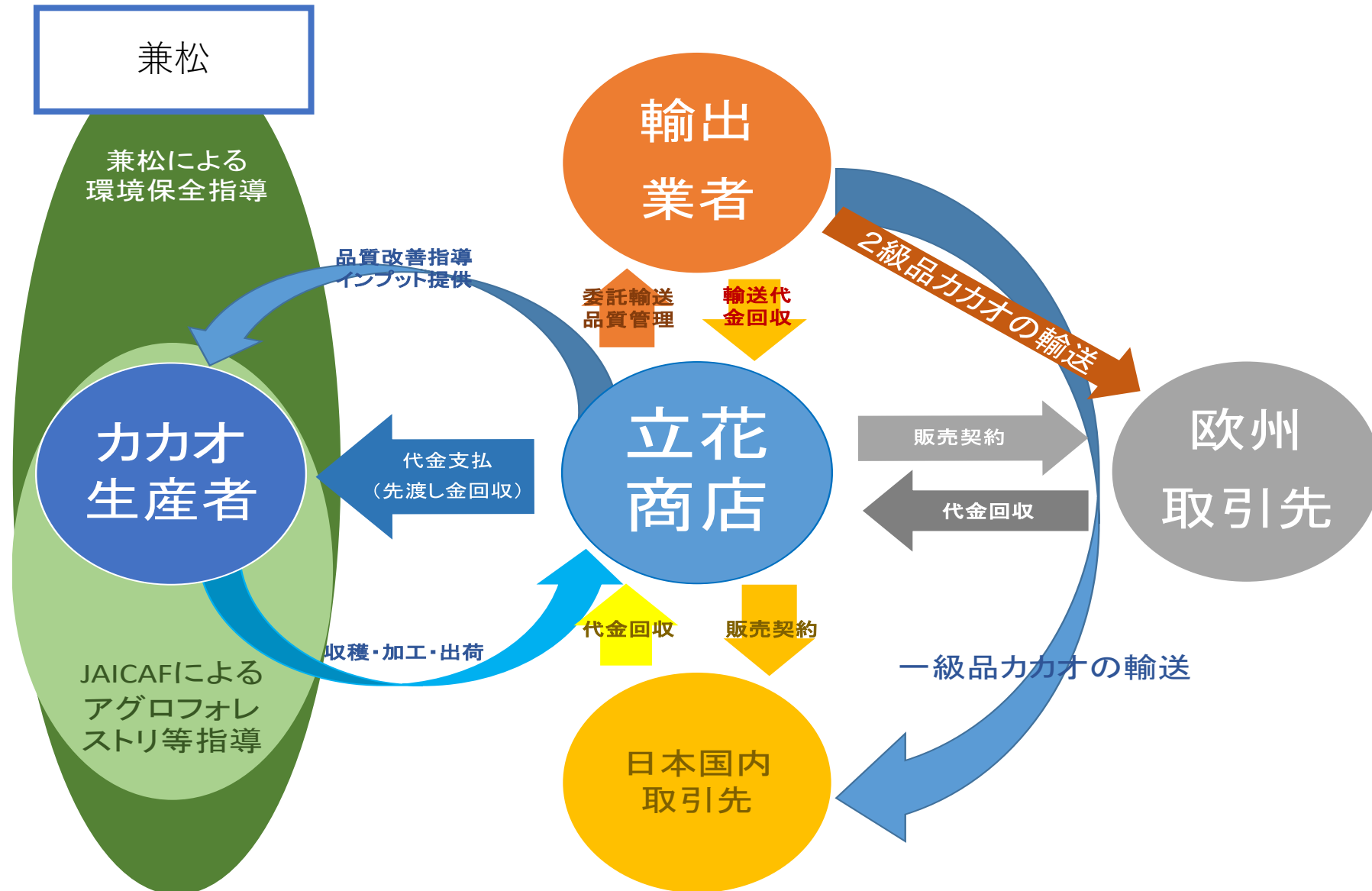
- プロジェクトの目的、ギニアの課題など

森林伐採を止めるためにもギニア政府によるカカオ産業推進を支援し、食料も確保しながら進めるアグロフォレストリーを紹介していきます

## (後半) (株)立花商店

- ギニア産カカオ豆の販売戦略について
- 具体的な生産現場での改善活動について

# 本プロジェクトの関係図（役割分担）



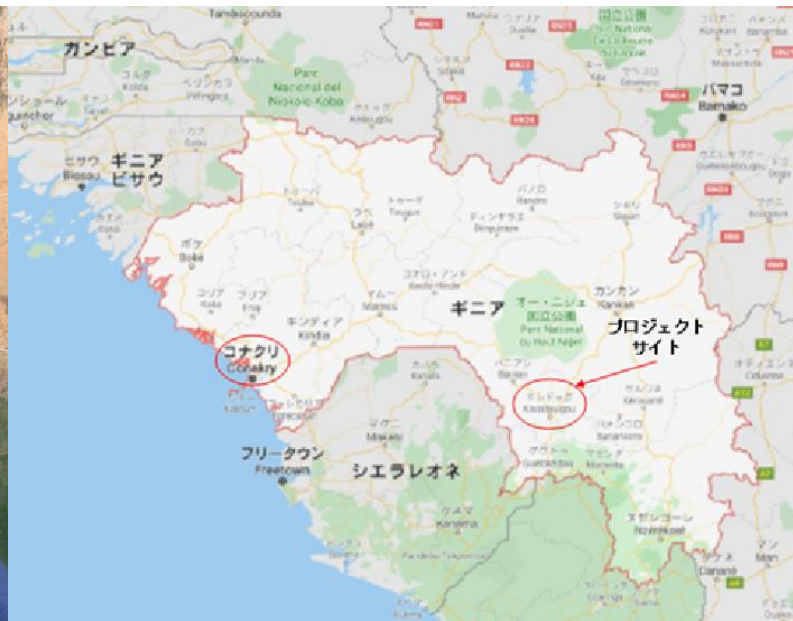
# 兼松(株)のカカオ農業支援の取り組み

- 2015年からインドネシアのゴロンタロ州でカカオ・バリューチェーン構築のJICA様事業(BOP事業)を実施、同国産カカオを使ったチョコレートの製品販売にも役立てている
- 2019年からギニア共和国でも同様のカカオ・バリューチェーン構築事業(SDGs事業)を開始、カカオ商社の(株)立花商店様と協力して、サステナブルなカカオ豆の生産と輸出を現地政府や有力民間企業と共に大きなビジネスに育てていく

カカオ豆の生産量 上位3カ国 (出典: FAO 2016統計)			
1	コートジボワール	1 4 7 万トン	ギニア共和国の隣国
2	ガーナ	8 5 万トン	日本市場の最大シェア
3	インドネシア	6 5 万トン	日本市場に至近
※	ギニア	8 2 0 0 万トン	

# ギニア共和国 ファラナ州 キシドゥグ県

- 肥沃で雨量も多いギニア共和国は、農業のポテンシャルが高い国ですが、当プロジェクトは西アフリカを流れるニジェール川（全長4200km）の源流地域にあり、周辺で起きている森林減少は流域国の水環境等に大きく影響することを心配しています



出典：Google

出典：Wikimedia

# ギニアの課題と対応策

- 課題：焼畑移動耕作や野生動物の狩り、家庭用燃料となる薪炭材の無計画伐採等によって森林が減少している。
- 対応策：カカオ生産、あるいはカカオ生産を希望する農家に対してカカオの苗木生産～収穫・加工技術の指導を行うとともに、アグロフォレストリによるカカオ生産を実践することによって持続的かつ収益性のあるカカオ生産と森林保全の実現を目指す。



# 現状

- Kissidougouの生産者は貧しく、肥料・農薬を買う資金がなかったことから結果的に自然農法が実践されてきた。
- これまで生産者はカカオ生産にかかる研修を受けてこなかったため、各農家がおのおのの加工方法でカカオ豆の発酵・乾燥を行ってきた。苗床についても同様。



# 実施の体制

- 農業局や農業普及専門組織（ANPROCA）の普及員とチームを編成し、技術を指導していく





# 日本の特徴を出した支援にしていきたい

- 日本製のチョコレートを食べてもらった 食前・食後の表情

(食前)



(食後)



例えば、日本のチョコレート製品・市場との組み合わせ、  
また、気候変動対策など

# COP26（イギリス・グラスゴー）に向けて

- 2国間の協力によるSDGs貢献を世界に向けて発信

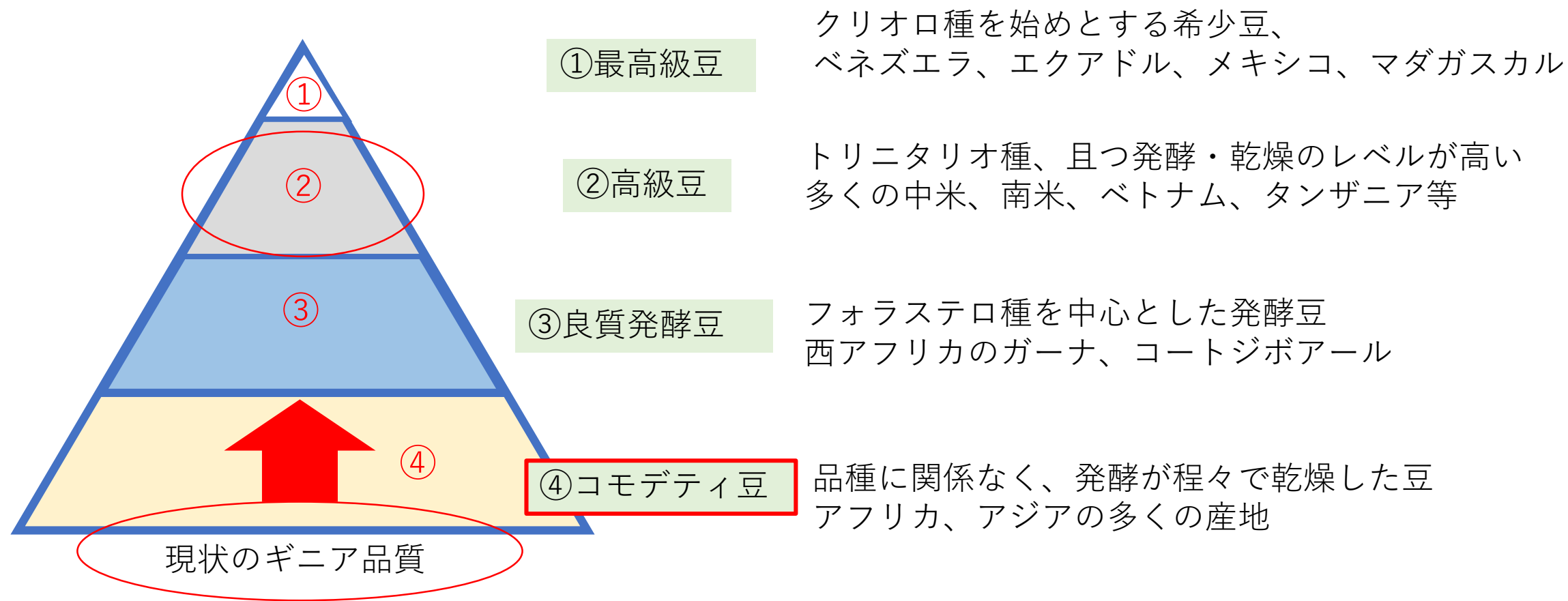
不平等をなくし（No.10）、陸の生態系を守り（No.15）、さらに、森林保全による気候変動対策で他社案件との差別化を図る目論見



# (後半) (株)立花商店

- ギニア産カカオ豆の販売戦略について
- 具体的な生産現場での改善活動について

# ギニア産カカオ豆のマーケティング戦略



※現状流通しているギニア豆は、④コモデティ豆の中でも極めて低い品質レベル

# 高級豆へのアプローチ



現地ではクリオロ  
呼ばれている古い品種



フランスが持ち込んだ古い品種で  
ある“フランセ”



現在ギニアで主流の  
フォラステロ種



政府が今後増やしていこうとして  
いるフォラステロの改良種である  
“メルセデス”

出典：<http://man-ville.net>

現地への渡航調査により、ギニアの農園には、いくつかの品種が混在していることがわかり、特に貴重な古い品種などがある可能性も高く、今後は夫々の特徴を調査し、市場性の高い品種に絞り、高級豆を中心とした農園を生産者組合を組成して栽培していく。

# 良質発酵豆へのアプローチ



発酵方法 ???



乾燥方法 ???



品質の安定 ??



現地への渡航調査により、ギニアのカカオ生産者は発酵・乾燥について一切指導を受けたことがなく、夫々の家族で、なんとなく受け継がれてきたやり方であり、同じ村でも誰一人として同じ方法の生産者はいなかった。

# 良質発酵豆へのアプローチ

## ガーナでの事例



ガーナなどで長く品質改善や集荷方法の構築に携わってきた経験を活かし、まずはギニアのプロジェクト地域でカカオの栽培及び、発酵・乾燥の基準を構築し、研修を通じて生産者の方々に学んでもらう活動を展開していく